秋田県農業共済組合広報紙

備えの種をまこう。

[のーさい]

NOSAI

2021 5
vol.6

ダイズな保険の話

特集　内小友ファームの秘伝とうふ

有限会社 内小友（うちおとも）ファーム

大仙市内小友

自社産の秘伝豆で豆腐作り

エダマメとしても食べられることが多く、香りと濃厚な味わいが特徴の青大豆「秘伝豆」。スーパーには出回らない内小友ファームの「秘伝とうふ」が地域の方々から愛され続けています。

有限会社 内小友ファーム

写真右から
小松亥佐夫代表取締役（75）
中安勝秋さん（63）
高嶋耕治さん（64）
（豆腐製造担当）
町田陽子さん（64）
（加工担当）

大仙市内小友の有限会社内小友ファーム（小松亥佐夫代表取締役＝75歳、従業員14人）では、安全・安心な商品を消費者に届けようと、自社生産の大豆を使った豆腐やがんもどきなどの加工品を製造し、好評を得ています。

同社は、集落の農家の要望を受けて平成16年に設立。現在は、水稲約70㌶、大豆約23㌶のほか、菌床シイタケをハウス21棟で栽培し、所得向上のための6次産業化にも取り組んでいます。

農業の傍ら豆腐製造業を営んでいた小松代表取締役は、日本政策金融公庫や県の融資を受けて豆腐加工場を整備。

右が青大豆の一種、秘伝豆。左がリュウホウ。内小友ファームでは5：2の割合で配合し豆腐を製造している。

秘伝とうふ（寄せ）300円、秘伝とうふ（木綿）150円、厚揚げ（大）230円、がんもどき（大）170円、おからボール220円（あん入りも新発売）　※全て自社直売所での税込み価格

大豆加工品ができるまで

豆腐、厚揚げ、がんもどきなどを製造し、自社直売所「草穂」とJA秋田おばこが運営する直売所「しゅしゅえっとまるしぇ」で製品を販売しています。

12月から3月までの冬期間は移動販売車で市役所やJAの支所を巡回します。看板商品の「秘伝とうふ」は週に500丁ほど製造しますが、地域住民の評判も高く、売り切れることが多いといいます。

「一番のこだわりは原料。秘伝豆は価格が高くて一般の豆腐店が原料にすることは難しいが、そこは農業法人の強み。自社産の品質の良い豆を贅沢に使っている。香りが良く、クリーミーな味わいを楽しんでもらいたい」と小松代表取締役は話します。

「今後は米だけでは生き残れない。今年から新たにメガ団地でいぶりがっこ用大根の栽培を始める予定。さまざまな品目を組み合わせた経営をしていきたい」と先を見据えます。

大豆共済

今年産で一筆方式廃止

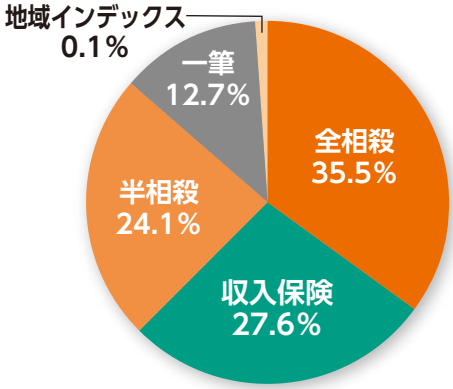
収入保険・他方式の検討を

大豆共済の一筆方式は、令和3年産の加入を最後に廃止されます。来年産からは、全相殺、半相殺、地域インデックスの各方式または収入保険への移行が必要になります。

頻発する自然災害に備え、大豆共済または収入保険への加入をご検討ください。

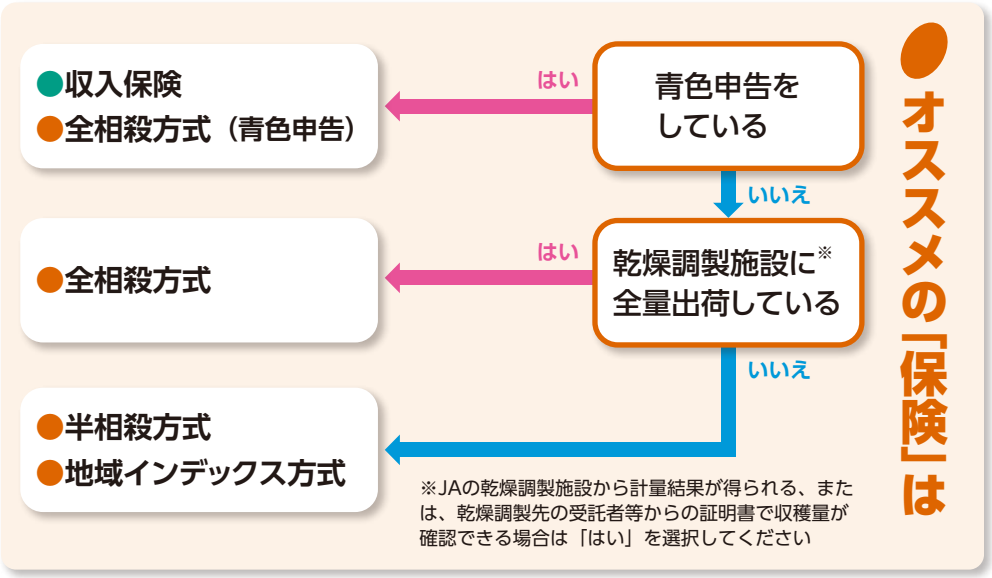
申し込みは 5/25 まで

全相殺・収入保険 選択者が6割超



大豆農家が加入する大豆共済各方式（令和２年産）と収入保険（令和３年産）の選択状況

●オススメの「保険」は



※JAの乾燥調製施設から計量結果が得られる、または、乾燥調製先の受託者等からの証明書で収穫量が確認できる場合は「はい」を選択してください

	減収のみで計算	減収と増収を合算	収入基準にワイドな補償
	半相殺方式	全相殺方式	収入保険
補償の対象	収穫量	収穫量	農業収入
評価単位	農家ごと	農家ごと	農家ごと
支払対象	２割超の減収	１割超の減収	１割超の収入減
対象となる事故	自然災害、病虫害、鳥獣害、火災による収穫量の減少	自然災害、病虫害、鳥獣害、火災による収穫量の減少	自然災害、価格低下、出荷停止など、農業者の経営努力では避けられない要因による収入減少
補償割合	８割	９割	—
掛金の目安（基準金額100万円）	共済掛金等 30,780円 ナラシ積立金 45,000円 保管中の補償 2,500円 合　計 78,280円	共済掛金等 49,329円 ナラシ積立金 45,000円 保管中の補償 2,500円 合　計 96,829円	保険料等 14,054円 積立金 22,500円 合　計 36,554円 ※保管中の補償を含む
加入要件	５㌃以上の栽培	５㌃以上の栽培 かつ青色申告または乾燥調製施設に全量出荷 ※1	青色申告

※1　JAの乾燥調製施設から計量結果を得られる、または、乾燥調製先の受託者等からの証明書で収穫量が確認できる場合

過去20年間の主な大豆被害

	主な災害	支払共済金
H14	雨害湿潤害	4億575万円
H16	風水害	5億9,927万円
H22	雨害湿潤害	1億7,477万円
H23	雨害湿潤害	2億2,467万円
H24	雨害湿潤害	2億2,068万円

昨年7月の大雨で冠水した大豆圃場（大仙市）

私は収入保険

一筆から収入保険へ

来年産から一筆方式に加入できなくなることや、補償割合の高さを考えて、今年から収入保険に加入しました。

ナラシ・水稲共済・大豆共済の事務手続きを別々にする必要がないのが魅力的です。

体調を崩して営農できなくなった場合も補償対象になるので安心です。

佐藤　久 さん(57)
美郷町金沢西根
経営内容
・大豆　20㌶
・水稲　13㌶

私は大豆共済

一筆から全相殺へ

以前は一筆方式に加入していましたが、被害を受けても平年収量の３割は足切りであることから、補償が今一つだと感じていました。

全相殺方式は補償割合が９割と高いことに加えて、出荷証明書で減収量を算定する評価の分かりやすさから、３年前に切り替えました。

大谷　洋一 さん(54)
能代市栗山
経営内容
・大豆　7㌶
・水稲　2.3㌶

全相殺で9780万支払い

昨年は、７月の断続的な降雨や豪雨により生育不良となったほか、８月下旬から９月上旬にかけて高温状態が続いたことで養分が十分に行き渡らず、障害粒が多くなりました。

支所	戸数	金額（円）
北秋田山本	5	3,407,652
中　央	102	32,181,562
由　利	30	1,203,137
仙　北	43	30,572,276
横手市	33	24,712,052
雄　勝	34	5,806,433
合　計	247	97,883,112

支払日　令和３年４月23日

	令和３年産で廃止	統計データで支払い
	一筆方式	地域インデックス方式
補償の対象	収穫量	収穫量
評価単位	耕地一筆ごと	農家ごと・市町村ごと　※2
支払対象	３割超の減収	１割超の減収
対象となる事故	自然災害、病虫害、鳥獣害、火災による収穫量の減少	自然災害、病虫害、鳥獣害などによる収穫量の減少
補償割合	７割	９割
掛金の目安（基準金額100万円）	共済掛金等 21,609円 ナラシ積立金 45,000円 保管中の補償 2,500円 合　計 69,109円	共済掛金等 25,475円 ナラシ積立金 45,000円 保管中の補償 2,500円 合　計 72,975円
加入要件	５㌃以上の栽培	５㌃以上の栽培

※2　地域インデックス方式は、市町村ごとの統計単収に基づき共済金を算定するため、農業者の被害状況に応じた補償とはなりません

果樹共済

特定危険方式廃止

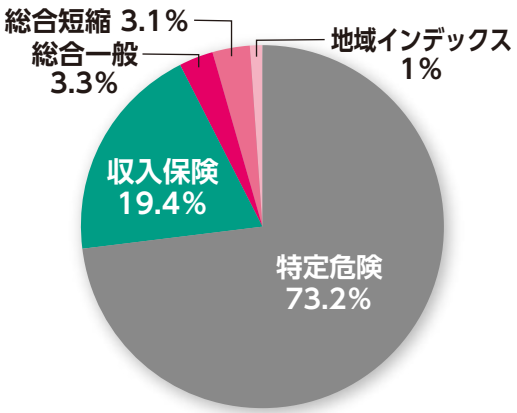
収入保険・他方式の検討を

平成30年台風21号で落下したリンゴ（横手市）

果樹共済の特定危険方式は、令和3年産の加入を最後に廃止されました。4年産からは、減収総合一般、減収総合短縮、地域インデックスの各方式または収入保険への移行が必要になります。

頻発する自然災害に備え、果樹共済または収入保険への加入をご検討ください。

加入者の７割が切り替え必要



果樹農家が加入する果樹共済各方式（令和２年産）と収入保険（令和３年産）の選択状況

地域インデックス方式
減収総合一般方式の

申し込みは 6/15 まで

花芽の形成期から補償	収入基準にワイドな補償	
減収総合一般方式	**収入保険**	
収穫量	農業収入	補償の対象
３割超の減収	１割超の収入減	支払対象
自然災害、病虫害、鳥獣害、火災による収穫量の減少	自然災害、価格低下、出荷停止など、農業者の経営努力では避けられない要因による収入減少	対象となる事故
７割	—	補償割合
りんご 23,900円 なし 25,600円 ぶどう 26,700円 おうとう 50,400円 保管中の補償は＋2,500円	保険料等 14,054円 ※積立金が別にかかります 保管中の補償を含む	掛金の目安 （基準金額100万円）
類（収穫期）ごとに５アール以上の栽培	青色申告	加入要件

収入保険は あらゆるリスクから 農業者を守ります

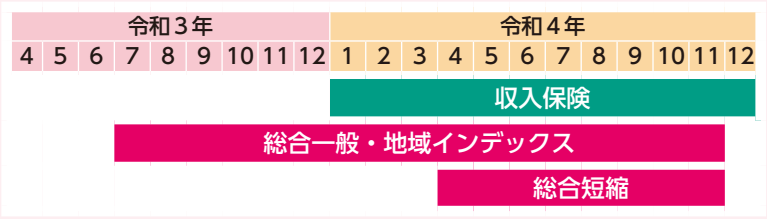
過去20年間の主な果樹被害

	主な災害	支払共済金
H14	風害	1億4,959万円
H16	風水害	6億2,559万円
H17	風害	1億1,652万円
H22	凍霜害	1億1,419万円
H30	風水害	1億1,101万円

令和４年産の補償、申し込み期限は？

- ●収入保険　令和３年11月30日まで
- ●減収総合一般方式　令和３年６月15日まで
- ●地域インデックス方式　令和３年６月15日まで
- ●減収総合短縮方式　令和４年３月20日まで

補償期間のイメージ

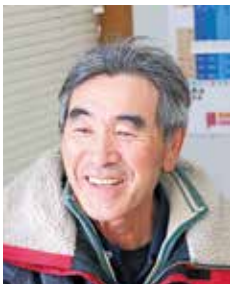


私は収入保険

特定危険から収入保険へ

収量を基準とする果樹共済の特定危険方式よりも、収入全体を補償される収入保険が自分に合っていると感じ、移行しました。

果樹は自然災害の影響を受けやすいので、備えとして頼りになる保険だと思っています。



石垣　修 さん(67)
大館市中山

経営内容
- ・ナシ　80㌃
- ・リンゴ　40㌃
- ・水稲　23㌃
- ・アスパラ　18㌃

私は果樹共済

特定危険から総合一般へ

今冬の大雪は55年間の農家経験の中で一番ひどい災害でした。

これまで予想できない被害に何度も遭った経験から、暴風雨やひょう害など特定の自然災害だけでなく、年間を通して幅広いリスクに備えられる総合一般方式を選びました。

佐々木　悟 さん(71)
横手市平鹿町

経営内容
- ・リンゴ　92㌃
- ・水稲　82㌃

	令和３年産で廃止	発芽期から補償	統計データで支払い
	特定危険方式	減収総合短縮方式	地域インデックス方式
補償の対象	収穫量	収穫量	収穫量
支払対象	２割超の減収	３割超の減収	１割超の減収
対象となる事故	暴風雨、降ひょう、または凍傷もしくは降霜による収穫量の減少	自然災害、病虫害、鳥獣害、火災などによる収穫量の減少	自然災害、病虫害、鳥獣害などによる統計単収の減少
補償割合	８割	７割	９割
掛金の目安（基準金額100万円）	りんご 17,200円 なし 17,600円 ぶどう 18,400円 おうとう 38,700円 保管中の補償は＋2,500円	りんご 18,500円 なし 23,300円 ぶどう 22,900円 おうとう 40,600円 保管中の補償は＋2,500円	りんご 20,600円 なし 17,900円 ぶどう 21,700円 おうとう 10,700円 保管中の補償は＋2,500円
加入要件	類（収穫期）ごとに5㌃以上栽培し、栽培面積の合計が20㌃以上	類（収穫期）ごとに５㌃以上の栽培	５㌃以上の栽培

※地域インデックス方式は、県等ごとの統計単収に基づき共済金を算定するため、農業者の被害状況に応じた補償とはなりません

新総代207人が決定

３月16日の総代選挙では、全ての選挙区で候補者が定数と同数になり、207人が無投票当選となりました。新総代は次の方々です。

【任期】令和３年４月１日～令和６年３月31日

大館市（12人）

(株)ファーム畠山　代表　畠山　博実（大館）
農事組合法人　大茂内　代表理事　渡辺　修作（大館）
安部　晴仁（大館）
釜谷　重雄（大館）
平泉　隆義（大館）
小畑　満義（大館）
畠山　謙一（大館）
佐々木　二蔵（大館）
渡部　鉄雄（比内）
渡辺　修一（比内）
石山　元一（田代）
髙坂　国雄（田代）

北秋田市（7人）

亀山　誠（鷹巣）
石川　隆雄（鷹巣）
畠山　金雄（鷹巣）
笹代　初生（鷹巣）
(株)あぐり岩偶の里　代表取締役　畠山　隆基（森吉）
松橋　悦治（阿仁）
(株)近藤農場　代表取締役　近藤　裕太（合川）

上小阿仁村（1人）

柴田　寛三郎

能代市（8人）

柴田　賢（能代）
大高　敏（能代）
平川　義市（能代）
大高　吉秋（能代）
鎌田　文尋（能代）
石井　昇（能代）
安井　唯男（二ツ井）
工藤　和美（二ツ井）

藤里町（1人）

土佐　正寛

八峰町（3人）

佐藤　信彦（峰浜）
福山　正人（峰浜）
(株)真瀬ファーム　代表取締役　工藤　雅樹（八森）

三種町（6人）

市野地区営農組合　組合長　板垣　鉄雄（琴丘）
斎藤　孝光（琴丘）
近藤　則義（山本）
池内　金義（山本）
三浦　泰昭（八竜）
日諸　重美（八竜）

男鹿市（7人）

伊藤　淑栄（男鹿）
平賀　一男（男鹿）
吉田　陽一（男鹿）
鈴木　慶美（男鹿）
高橋　千直（若美）
進藤　清隆（若美）
西方　豊（若美）

潟上市（6人）

川上　孝（昭和）
菅原　良一（昭和）
瀬川　秋雄（飯田川）
安田　秋広（天王）
佐藤　清美（天王）
伊藤　時雄（天王）

八郎潟町（2人）

伊藤　一
工藤　清一

五城目町（3人）

佐々木　雄幸
畑沢　一
佐藤　政孝

井川町（2人）

伊藤　俊郎
藤田　次男

秋田市（14人）

鎌田　均（秋田）
古木　仁悦（秋田）
保坂　進（秋田）
佐藤　祐治（秋田）
佐々木　貞助（秋田）
須田　正勝（秋田）
石川　彦孝（秋田）
相場　久一（秋田）
塚田　治誠（秋田）
鈴木　誠徳（河辺）
佐々木　和昭（河辺）
佐藤　茂（雄和）
伊藤　敏一（雄和）
工藤　勇一（雄和）

由利本荘市（18人）

金子　兼男（本荘）
鎌田　三代治（本荘）
猪股　忠三（本荘）
橋場　義則
金萬　信雄
児玉　信雄
藤田　由廣
小笠原　茂
田口　誠三
農事組合法人　大里ファーム　代表理事　安保　春喜
阿部　忠良

鹿角市（8人）

小林　正行

小坂町（1人）

伊藤　孝弘（本荘）
三浦　正美（矢島）
相庭　安一（矢島）
齋藤　修一（岩城）
佐藤　順（由利）
木村　要（由利）
三浦　誠（西目）
佐藤　誠（鳥海）
佐藤　秀孝（鳥海）
佐藤　保弘（鳥海）
佐々木　一徳（東由利）
佐々木　雅廣（東由利）
小笠原　公毅（大内）
鈴木　哲（大内）
佐々木　由美（大内）

にかほ市（5人）

大須賀　雄治郎（仁賀保）
阿部　静夫（仁賀保）
佐藤　聡（金浦）
佐々木　健（象潟）
斎藤　喜信（象潟）

大仙市（28人）

渡部　春男（大曲）
三浦　正幸（大曲）
嶋貫　長行（大曲）
東海林　繁（大曲）
三浦　功（大曲）
河越　昇（大曲）
明野　一雄（大曲）
佐藤　良美（神岡）
黒川　雄一（神岡）
藤原　茂（西仙北）
佐原　吉春（西仙北）
斉藤　幸雄（西仙北）
佐藤　秀世（西仙北）
佐藤　幸喜（中仙）
澁川　昇榮（中仙）
鈴木　次男（中仙）
鈴木　耕悦（中仙）
進藤　徳明（協和）
（有）弥栄
代表取締役　加藤弘栄（協和）
小松　満（太田）
倉田　藤兵衛（太田）
煤賀　隆芳（太田）
佐々木　信尾（太田）
佐々木　助十郎（南外）
高見　正志（南外）
大西　四十二（仙北）
佐藤　隆盛（仙北）
茂木　忠夫（仙北）

仙北市（7人）

菅原　浩（角館）
藤枝　誠（角館）
田村　久雄（田沢湖）
佐々木　定吉（田沢湖）
佐藤　昭吾（田沢湖）
阿部　重廣（西木）
千葉　利数（西木）

美郷町（10人）

齊藤　元昭（六郷）
飛澤　名臣（六郷）
佐々木　光夫（千畑）
中村　貞悦（千畑）
橘　隆一（千畑）
進藤　通生（千畑）
川村　継美（仙南）
髙橋　弘悦（仙南）
佐藤　博文（仙南）
伊藤　誠德（仙南）

横手市（31人）

遠山　一栄（横手）
柴田　孝（横手）
伊藤　一男（横手）
髙橋　聡（横手）
伊藤　武信（横手）
小田島　和美（横手）
佐々木　勝美（増田）
小原　正樹（増田）
佐藤　八左エ門（増田）
菅原　忠正（平鹿）
農事組合法人　はやしざき
代表理事　後藤一夫（平鹿）
東海林　忠一（平鹿）
佐藤　義利（平鹿）
阿部　茂（平鹿）
伊藤　勇一（平鹿）
佐々木　悟（雄物川）
渡辺　良一（雄物川）
佐々木　正男（雄物川）
小西　均（雄物川）
大久保　清助（雄物川）
小野　松治（大森）
佐藤　政一（大森）
瀧澤　京一（大森）
福田　鉄生（十文字）
古関　修（十文字）
梅津　克義（十文字）
小西　與一（十文字）
照井　則雄（山内）
佐々木　重美（大雄）
佐々木　吉一（大雄）
高橋　定義（大雄）

湯沢市（18人）

新山　博靖（湯沢）
佐々木　栄太郎（湯沢）
伊藤　友弘（湯沢）
高久　義和（湯沢）
菅　義人（湯沢）
奥山　優一（湯沢）
村上　絢一（湯沢）
阿部　正（稲川）
佐藤　俊雄（稲川）
髙橋　忠雄（稲川）
沓澤　弥（稲川）
藤原　健（稲川）
（株）雄勝グリーンサービス
代表取締役　今　一（雄勝）
西村　一（雄勝）
由利　幸悦（雄勝）
野崎　守（雄勝）
髙橋　郁夫（皆瀬）
髙橋　新一（皆瀬）

羽後町（8人）

真田　稔
阿部　敏雄
武田　信宏
齋藤　伸一
佐藤　一志
小野　浩二
小坂　龍一
武田　文夫

東成瀬村（1人）

佐々木　義夫

入ってよかった！ 収入保険

鈴木　敏美さん
（横手市）
リンゴ　2ヘクタール

豪雪や価格低下でも安心

平成23年豪雪の枝折れ被害で収量が極端に減り、それまで加入していた果樹共済をやめました。その後、収量が回復してきたため、「そろそろリンゴの補償を」と考えていた時、NOSAI職員から収入保険を勧められ、令和元年から加入しました。

令和元年は、干害による生育不良で小玉が多くなり、単価も安かったため、収入が減りました。果樹共済では、販売価格の低下は対象外ですが、収入保険では補てん金が支払われてとても助かりました。青色申告の書類で算定されるため、損害評価の負担がないことも良かったです。

今年は10年前と同様の大雪被害があり、4割ほどの減収を予想しています。個人的には、大雪の間隔は年々短くなるのでは、と思っています。

市場価格は、青森などの主生産地の出来に左右されてしまいます。リンゴ栽培は努力だけでカバーできないことも起こります。収入保険は、自然災害はもちろん、市場価格の下落など様々なリスクに備えられるので、とても心強いと感じています。

おしえて！ノーサイくん

Q 営農計画を変更した場合の補償は？

収入保険の加入後に、作付け品目や面積等を変更した場合は、営農計画を変更して保険期間の見込収入を見直します。

変更に伴い基準収入金額が変わる場合には、保険料等の追徴または返還が発生することがあります。

水稲から大豆へ変更した場合

加入時に作付けを予定していた「水稲」を「大豆」に変更する場合にはNOSAIに届け出ます。

NOSAIでは、作付け品目や面積等を確認し、保険期間の見込収入に適用する単収・単価を設定し、適切な保険期間の見込収入を設定することで基準収入金額を見直します。

令和3年産水稲に係る留意点

加入時には「主食用米」としていたものが、保険期間中に「飼料用米」や「加工用米」等に変更になる場合も届け出が必要です。米は用途によって単収・単価の見直しが必要になります。

主食用米から、飼料用米や加工用米に変更した場合には販売単価が下がり、補償のもとになる基準収入金額も下がることになります。

営農計画の変更が生じた際には、最寄りのNOSAIまでご連絡ください。

知ってトク税の話

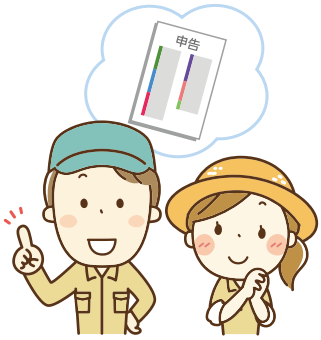
夫婦間における農業の事業主の判定

Q 水稲の栽培は私が担当し、野菜の栽培は妻が担当しており、販売代金もそれぞれの名義の通帳に別々に振り込まれています。このような場合、水稲は私名義で、野菜は妻名義で申告することができますか。

A 生計を一にしている夫婦間における事業主は、いずれか一人となりますので、水稲と野菜を別々の名義で申告することはできません。

事業主が誰であるかの判定については、農業経営や家庭生活の状況などを総合勘案することになります。

【解説】 夫婦間において、農業所得が誰に帰属するかを判定する場合には、原則としてその農業の経営方針の決定に支配的影響力を持つと認められる人が事業主であるものと推定し、判定できないときは、生計を主宰するものが事業主であるものと推定することになっています。



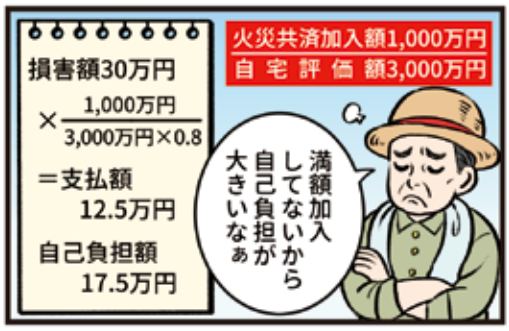
経営移譲年金受給者は事業専従者となれるか

Q 私の父は、経営移譲年金の受給のため、農業経営を私に移譲しましたが、引き続き農業には従事しています。私の父を事業専従者とすることができますか。

A 経営移譲後も専ら農業に従事しているのであれば、事業専従者となることができます。

（秋田南税務署）

建物共済に特約を！



特約をつけると掛金は？

住宅（一般造）1,000万円加入の場合

火災共済	基本プラン（特約なし）	10,800円
	小損害実損てん補特約付き	12,060円
総合共済	基本プラン（特約なし）	30,700円
	小損害実損てん補特約付き	33,680円

伝統をつなぐ
Vol.5
秋田さしびろ

太さと色味の良さを求めて

秋田市　佐藤　政男 さん

春の訪れを告げる伝統野菜「秋田さしびろ」を作り続けて約70年になる秋田市仁井田の佐藤政男さん（84）。中学校卒業以来、農業に従事し、現在は秋田さしびろのほか、「秋田ふき」「仁井田菜」など約10種類の野菜を30アールで栽培しています。

秋田さしびろは、九条ネギ系で柔らかい食感と甘味が特徴。前年の9月上旬に株分けし、4～5本を一株にして植え替えます。越冬し、雪が解けた後に成長を早め、20センチ以上に生育したものを地際から鎌で刈り取ります。

早い時期のものは高値で取引されるため、トンネルで栽培する農家もいます。トンネル栽培は3月上旬から、露地栽培は3月下旬から収穫が始まります。

秋田市や由利本荘市で栽培される「秋田さしびろ」

つながる輪

丸果秋田県青果株式会社
営業本部長
安斎　美紀男 さん

佐藤さんとは30年以上前からの付き合いですが、面倒見が良い人で、地域をけん引する篤農家です。

サシビロをはじめ、バレイショや青菜など、常に品質の高い農産物を出荷してくれています。

健康に気を付けてこれからも頑張っていただきたいです。

シーズンを通じて1万本以上を出荷する佐藤さん

「近隣の農家が競うように出荷した昭和30年代が懐かしい。早くかけたトンネルが雪で潰れる人がいたのも懐かしい思い出だ」と佐藤さんはほほ笑みます。

施肥は刈り取り後、植え直し前、消雪後の3回行います。雑草対策のためマルチを敷き、殺菌剤の使用を極力控えるといいます。

朝に刈り取った秋田さしびろを約10本ごとに束ね、その日のうちに市内の青果物卸売会社に出荷します。取引価格は1キロあたりおよそ300円。作業は4月いっぱい続きます。

「値段に関わらず、良い品質のものができればうれしい。今後も太くて色の良いサシビロを作り続けたい」と佐藤さんは話します。

■18頁にレシピ掲載

佐藤さんが作る ニシ※かやき

※仁井田周辺では、身欠きニシンを「ニシ」と、生のニシンを「カド」と呼びます

材料

秋田さしびろ、身欠きニシン、豆腐、味噌

作り方

①身欠きニシンを湯通しして油抜きする
②味噌をといた出汁に身欠きニシン、さしびろ、豆腐を入れて煮る（煮過ぎないのがポイント）

秋田ホラふきゴマかし

佐藤さんが栽培する「秋田ふき」を使用した「秋田ホラふきゴマかし」が人気を呼んでいます。

秋田畑では、1袋（1枚入り）167円、1箱（10枚入り）で税込1,865円で販売（いずれも税込み）

秋田市泉中央の秋田ふき粉会（佐藤郁子会長）と同地区の菓子店・グランシェフ（菅生春雄店主）が共同開発した焼き菓子。

秋田ふきの葉を粉末にし、ゴマと合わせて練り込んだ生地を丁寧に焼き上げた一品で、ゴマの甘さと秋田ふきのほろ苦さが好評です。

同市にあるなかいちの「秋田畑」で販売するほか、電話で個別注文できます。

個別注文は秋田ふき粉会・佐藤代表へ＝☎090（6681）3316

あきた村だより

大館市

自社産牛と比内地鶏の肉でレトルトカレー

東日本物産株式会社

富樫社長（中）と東日本物産のスタッフ

▶住所
大館市赤石字塚ノ岱29番地1

▶電話番号　0186-49-0100

大館市赤石で畜産業を営む東日本物産株式会社（富樫晃社長、54歳）。消費拡大を図ろうと同市産の秋田純米牛や比内地鶏の肉を使用したカレーを開発し、発売開始から1カ月で2000食を売り上げ評判となっています。

同社は、同市雪沢の東日本ファミリー牧場で黒毛和種の肥育牛280頭、北海道の2つの牧場で700頭ほどを飼育するほか、鹿角市の繁殖農家に35頭を預託しています。全て国産の米粉を使用した同社のブランド牛で、「秋田純米牛」として商標登録されています。

販売するカレーは、同ブランド牛を使用した「秋田純米牛カレー」と地元で飼育された比内地鶏の肉を使用した「比内地鶏カレー」。昨年の7月から開発し、試行を重ね12月に完成しました。

比内地鶏カレー（左）と秋田純米牛カレー。価格はいずれも1箱税込み1,100円

販売は同市のふるさと納税の返礼品としての利用をメインに、贈答品としての販売も勧めています。同社で購入できるほか、同市の日景温泉でも取り扱っています。

富樫社長は「地元農家を応援するためたくさんの人に手にとってもらいたい。県外の人への贈答品にも役立てていただきたい」と期待をこめます。

由利本荘市

持続可能な法人へ経営改善

農事組合法人 赤田ファーム

アスパラのハウスで田口代表。施用する堆肥は、法人のもみ殻に地域の牛ふんを混ぜて発酵させています

由利本荘市赤田で水稲36ヘクタールや大豆10ヘクタール、アスパラガス33アールを作付ける農事組合法人赤田ファーム（田口純一代表理事＝70歳、構成員13人）。地域の高齢化と後継者不足が進む中で、持続可能な組織を目指して経営改善に取り組んでいます。

赤田ファームは、赤田中集落営農組合を母体に14年に法人化して設立。「元気な中山間農業応援事業」や「担い手確保・経営強化支援事業」などを活用して機械を導入し、生産体制を整備しました。

水稲は、密苗や直播が可能な田植機を導入するとともに、機械作業の改善や効率化に取り組んでいます。高価格帯の特別栽培米から業務用米までを組み合わせ、経営リスクの分散も図っています。

農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会から「令和2年度全国優良経営体表彰（経営改善部門）」を受けた田口代表（左）

15年に始めたアスパラガスは、露地とハウス栽培で長期出荷体系を構築。田口代表は、「4月から10月まで収穫でき、女性や高齢者の働く場の確保につながっている」と説明します。

「通年雇用に向けた冬期の収入確保が課題。福利厚生を充実させ、休日を確保するなど、さらに環境を整えたい」と話します。

美郷町

ブルーベリージャムと野菜を組み合わせ

齊藤 香寿美さん

「１番人気はトマトとの組み合わせ」と齊藤さん

▶商品の問い合わせ
しゅしゅえっとまるしぇ

▶電話番号　0187-73-5194

美郷町浪花の齊藤香寿美さん（34）は、自身で栽培したブルーベリーと野菜を組み合わせた「野菜嫌いの子どもがいるお母さんが作ったジャム」を販売しています。

３人の子供が野菜を食べず悩んでいた時、自家消費用として加工していたブルーベリージャムに野菜を混ぜようと考えました。試食した子供の反応を見て野菜の量を調整し、ブルーベリージャムで野菜の味を消さないように工夫しました。

食べた人からは「野菜を食べない子供がこれなら食べた」「野菜の嫌な部分が無い」との声があったといいます。上白糖よりも血糖値の上昇が緩やかなテンサイ糖を使用しているため、健康を気にする人にも好評です。

商品を販売する大仙市のしゅしゅえっとまるしぇの藤田学店長は、「齊藤さんは、農業に対してのやる気が強い。消費者に安全・安心な商品を届けてくれる」と話します。

子供から「将来はお母さんの野菜を使った料理を提供するお店を開きたい」と言われるなど、家族の応援を励みにする齊藤さん。義父の稲作を夫婦で引き継ぐことを考えているため、「いつか地産地消のお店を開けたら面白そう」と笑顔を見せます。

野菜を敬遠する子供が手に取りやすいよう、ラベルにも力を入れました。税込み400円です

読者プレゼント

詳しくは17ページをご覧ください。

湯沢市

栽培したトマトで加工品製造

小原 聡子さん

「今年も加工品を製造できるよう、まずはおいしいトマトを作りたい」と小原さん

湯沢市倉内の小原聡子さん（37）は、ハウス10棟18・6アールで栽培したトマトを加工し、「ミスターKのフライソース」を販売しています。

義父の勝美さん（68）が作付けるトマト「桃太郎ファイト」を４年前から一緒に手掛ける聡子さん。農薬を減らし有機肥料を使用して栽培します。

トマトを生食以外の用途でも広めるため、県内の女性農家の組織「あきたアグリヴィーナスネットワーク」に参加し、活動の一環でソースを開発。いわゆるウスターソースで、揚げ物との相性が抜群だといいます。トマトをベースに、同市産のリンゴやセロリなども使用しています。「９種類のスパイスをちょうど良い加減にするのに苦労した」と話します。

１月に２００個が完成し、会員制交流サイト（ＳＮＳ）などで商品を宣伝しました。在庫がなくなる店もあるほど人気を呼んでいます。

今年はトマトの播種作業が３月に終わり、６月末から10月いっぱいにかけて収穫を行う予定です。「今年も収穫が終わってから商品の製造に取り掛かる。今後はミスターKシリーズで別の加工品製造にも挑戦したい」と話します。

商品は税込み810円。ミスターKは勝美さんの名前から取りました

NOSAIからのお知らせ

ご意見・ご要望はこちらへ
✉nosaiakita@nosaiakita.or.jp

職員採用試験のお知らせ

組合では、令和4年4月1日採用予定の「一般職職員（上級＝大学卒業程度）」を次のとおり募集します。

◆**業務内容**
農業保険法に基づく業務（事務、現地調査、損害評価や保険の推進など）

◆**採用予定人数**　4名程度

◆**勤務地（事務所）**
秋田県農業共済組合　本所・各支所（秋田市・鹿角市・能代市・由利本荘市・大仙市・横手市・湯沢市）
※勤務地は出身地を考慮して決定します

◆**受験資格**
①平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方で大学卒業以上の学歴（令和4年3月卒業見込みを含む）を有する者
②普通自動車免許取得（予定）者

◆**申し込み方法**
申込書類を郵送または持参。様式は組合ホームページまたは本所・各支所で受け取り可能です。

◆**申込期間**
令和3年4月1日（木）から令和3年5月31日（月）までの午前8時30分～午後5時（土日・祝日を除く）
※郵送の場合は5月31日の消印有効

◆**試験日**
一次試験
令和3年6月18日（金）
二次試験
令和3年7月上旬

◆**試験会場**
秋田県農業共済会館（秋田市中通三丁目4番50号）

◆**問い合わせ**
本所・総務部総務課
☎018－884－5222

水稲共済の加入はお済みですか

水稲共済は田植え前まで申し込みが可能です。頻発する自然災害に備えて加入しましょう。

収入保険加入者が増えています

頻発する自然災害や長期化する新型コロナウイルスの影響へ備えるため、多くの農業者が収入保険に加入しています。

令和２年度収入保険加入実績

支所	個人	法人	合計
北鹿	158	31	189
北秋田山本	219	43	262
中央	261	33	294
（大潟村）	91	5	96
由利	246	24	270
仙北	198	43	241
横手市	239	27	266
雄勝	180	32	212
合計	1,592	238	1,830

（令和３年３月31日現在）

よろしくお願いします

令和3年4月1日付で職員を採用しました。

◆**中央支所**
建物農機具課主事　玉尾　奏汰

◆**仙北支所**
家畜果樹園芸課主事　藤澤　太希
建物農機具課主事　伊藤　奈菜子

◆**横手市支所**
農産課主事　菅原　一哉

◆**県北家畜診療所**
技師　青木　祐歌

◆**中央部家畜診療所**
技師　椿　馨

お世話になりました

令和3年3月31日付で職員が退職しました。
（　）内は旧所属
※は再雇用

照井　真澄（本所副参事）
石山　一行※（本所事業統括部長）
鈴木　修（中央支所支所長）
伊藤　有也（中央支所農産課主事）
麻生　昭一※（横手市支所家畜果樹園芸課課長）
麻生　清実※（雄勝支所支所長）
高橋　晃※（雄勝支所家畜果樹園芸課課長）

訃報

当組合の筆頭副組合長理事を務めておりました泉満廣氏が、3月5日に逝去いたしました。ここに謹んでお知らせいたします。

NOSAIへのお問い合わせは

本所 TEL 018-884-5222
中央支所 TEL 018-865-1701
横手市支所 TEL 0182-32-4150
北鹿支所 TEL 0186-23-7401
由利支所 TEL 0184-24-3301
雄勝支所 TEL 0183-73-7131
北秋田山本支所 TEL 0185-54-5540
仙北支所 TEL 0187-63-1066

キラキラこまち

佐藤　幸墨（ゆきる）さん（22）
～ 能代市 ～

感謝の気持ちで調理を

能代市内の弁当屋に勤務して２年目になります。白神ねぎなどの野菜を農家の方から調達して調理しています。

料理が好きで今の仕事を選びました。雰囲気が良くて仕事がしやすいです。お客さまから「ありがとう」の一言をもらえるとやりがいを感じます。

農業は私たちの生活に欠かせませんが、天候に左右され先が読めず大変だと同世代の専業農家さんから聞きます。おいしいお米や野菜などを毎日食べられるのは農家の皆さんのおかげなので、これからも感謝の気持ちを忘れず調理に励みたいです。

表紙の紹介

今回の撮影にご協力いただいたのは、

大仙市内小友の
大槻　竜空（りく）くん（10）
大槻　凌生（りょう）くん（7）
（智也さん、美希子さん長男・次男）

「秘伝とうふは何もつけなくてもおいしい！」と話す２人。お父さんが専務を務めるアグリフライト大曲のイチゴハウスで記念撮影。

プレゼントクイズ

大仙市の内小友ファームで栽培している青大豆の名前は何でしょうか（P2参照）。正解者の中から抽選で８名様にP15で紹介したブルーベリージャムをプレゼントします。

ブルーベリーと野菜を組み合わせた「野菜嫌いの子どもがいるお母さんが作ったジャム」

63
010-0001
秋田市中通３・４・50
NOSAI秋田
企画広報課

①クイズの答え
②５月号でよかった記事や感想。NOSAIへの要望等（必ず）
③郵便番号　住所
④氏名　⑤年齢
⑥電話番号

【応募締切】令和3年5月24日（月）消印有効
当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
前号の答えは「園芸施設」でした。

お便りありがとうございます

前号にお寄せいただいたお便りの一部をご紹介します

あきた村だより、地元の若い農家の熱い思いが伝わってきました。園芸施設共済は農家にとっての強い味方ですね。（三種町・成田さん）

キラキラこまちの笑顔、そして表紙の女の子３人の笑顔、コロナ禍の中で思わずホッコリします。（五城目町・嶋崎さん）

思いがけない大雪でハウス２棟が潰れてしまい、すぐに地区の資材センターに注文しました。自然災害って本当に怖いですね。（由利本荘市・畑山さん）

昨年はいもち病で大変な年でした。NOSAIに被害申告し、共済金をいただき本当に感謝しています。（美郷町・前田さん）

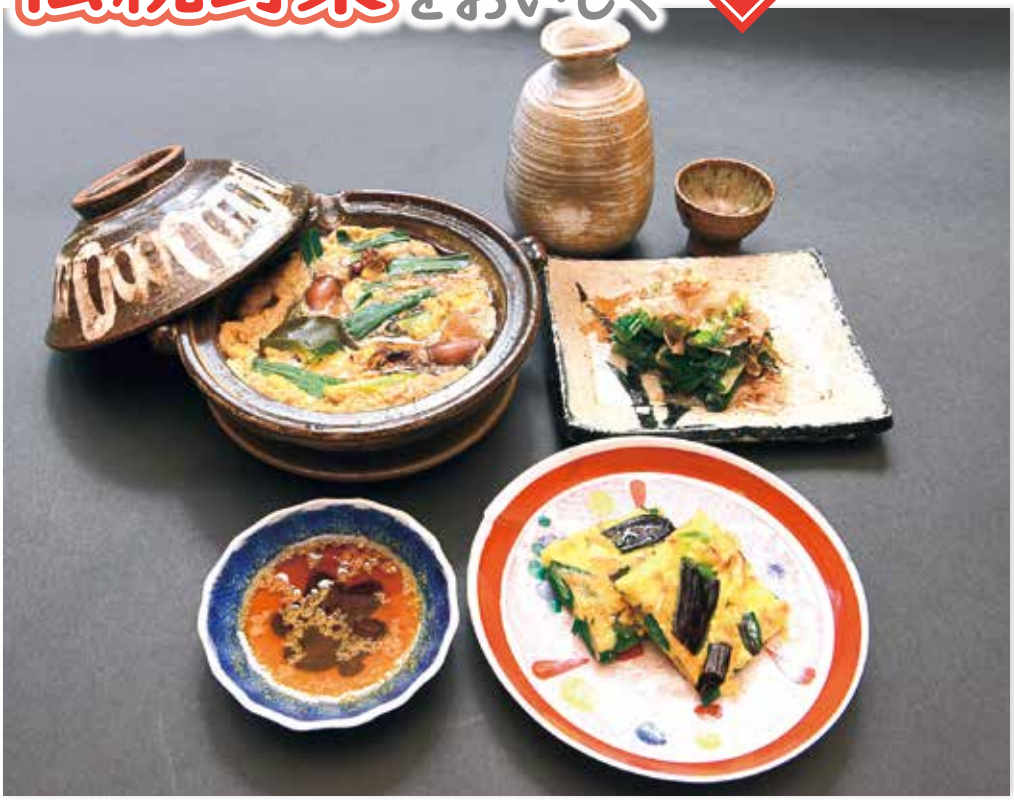
早春の味ヒロッコ、スーパーで見かけても、どのように栽培されているのか知りませんでした。大変な労力と手間がかかっているんですね。（横手市・高橋さん）

ヒロッコ料理を拝見し、もうすぐ春が訪れることを感じています。ヒロッコの根っこまで使うレシピを知り、さっそく挑戦したいと思います。（羽後町・原田さん）

NOSAI 2021 5 vol.6
◆発行／秋田県農業共済組合　〒010-0001 秋田県秋田市中通三丁目４番50号　◆電話／018-884-5222

あきたの伝統野菜をおいしく

その五



秋田さしびろ

九条ネギ系の葉ネギで、甘味と柔らかい食感、ぬめりが特徴。鍋物や味噌汁、酢味噌和えなどに利用されます。主な産地は秋田市と由利本荘市。

■12頁に関連記事

サシビロと男鹿のメカブとホタルイカの卵とじ

材料

サシビロ50g、メカブ30g、ホタルイカ30g、かつお出汁150cc、しょうゆ30cc、みりん20cc、卵１個

つくり方

①サシビロは5cmほどの長さに切り、メカブは茎から切り離して一口大に切る
　※丁寧に仕上げる場合はホタルイカの目、クチバシ、中骨を取り除いておく
②出汁、しょうゆ、みりんを一人用の土鍋に沸かして具材を入れる。再度沸騰してきたら卵を溶き入れて蓋をして火を止める
　卵にふんわりと火が通ったら完成

サシビロしょっつる焼き

材料

サシビロ100g、ごま油20cc、しょっつる10cc、かつお節ほか薬味適宜

つくり方

①サシビロを5cmほどに切り、ごま油を熱したフライパンに入れる
②弱めの中火でじっくりと焼き、さしびろの甘味を引き出す。
　焼き目がついてきたらしょっつるをまわしかける
③器に盛り付け、かつお節、七味唐辛子、山椒の粉などを散らして完成

サシビロ韓国チヂミ

材料

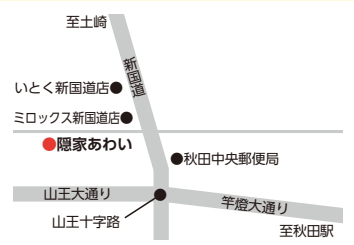
サシビロ1/2束、生地（薄力粉70g、片栗粉30g、かつお出汁100cc、卵１個、塩少々）、ごま油30cc、タレ（しょうゆ大さじ1、酢大さじ１、ラー油小さじ１、すりごま小さじ１）

つくり方

①サシビロを2cmの長さに切る
②ボウルに生地の材料を全て入れ、混ぜ合わせる
③フライパンにごま油を半量入れて熱し、サシビロをサッと焼きつける
④生地をフライパンに流し入れ、固まってきたら残りのごま油を下に流し入れてから、生地を返す
⑤両面にしっかり焼き色がついたら切り分けて分量を混ぜ合わせたタレをつけて完成

監修

隠家あわい
店主　冨岡　誠さん

伝統野菜や旬の食材を使った料理を提供する小料理店「隠家あわい」店主。「あきた郷土作物研究会」会員

〒010-0967
秋田市高陽幸町５-15
☎018-823-3251
営業時間
　17:30～22:30
　※昼は要予約
定休日
　日曜日